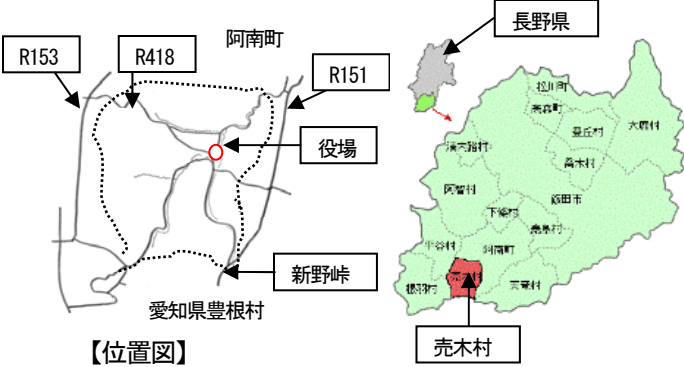


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	人と地域資源を活かす“住んで元気、訪れて元気”の山里づくり事業
対象地域	長野県下伊那郡売木村全域
対象地域の概要	 【位置図】 村の風景
提案内容の概要	地域が抱える問題点や課題に対応して、住民が中心となり地域への愛着と誇りを醸成しつつ、事業者・行政及び地域外の NPO・大学等と協働して地域資源（自然や文化、人材やノウハウ、施設など）を活かし、コミュニティビジネスの手法を用いて継続して事業を行い、売木村ブランドづくりとリピーター型の交流人口の拡大による元気で豊かな村づくりに取り組む。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	◆平成20年度「新たな公」の事業実施を踏まえて課題を抽出 ①「地域資源の発掘と“みがきあげ”活動推進」の取り組みにより、地域の実情に応じた天日干し商品づくりの資源調査、人材確保、加工技術の向上が必要と判明した。 ②「バイコロジーと都市農村交流活動推進」の取り組みにより、サイクリングと合わせた楽しい体験プログラムづくりや美しい景観づくり・環境づくりなどが必要と判明した。 ③アンケート調査結果などから地域の魅力や体験交流企画（①や②の内容）を地域内外にアピールする効果的な情報発信が必要と判明した。
(2) 活動内容の案	活動①：天日干しの野草茶づくり；3種類以上（地域資源の発掘と“みがきあげ”活動の推進） 山里の気候・風土に育まれた地元の野草やラベンダーを活かした加工品をつくり、地元の直売所等で試行販売を行う。 ・野草の調査と選定（専門家のアドバイス）、天日干しの方法の研究。 ・高齢者にも試飲・試食会に参加してもらい、感想や郷土の行事食・伝統の料理などを聞き取り、村の食文化の掘り起こしをして商品づくりに活かすとともに次世代に伝えていく。 ・活動は、「NPO 法人つみくさの里うるぎ」が中心となり、事業推進メンバーと協働して取り組む。 活動②：自転車利用の環境づくり（バイコロジーと都市農村交流活動の推進） サイクリングコースの充実を図るため、立ち寄りホットテーションの設置と美しい景観づくり・環境づくりを行う。 ・農産物や加工品を直売する「うるぎふるさと館」と、広域公園（長野県整備）の「うるぎ星の森オートキャンプ場」をサイクリング等の立ち寄りホットステーション（仮称）として位置づける。 ・サイクリングと郷土料理体験・温泉体験などを組み合わせた交流企画を実施する。 ・地元住民や都市住民の参加を募り、村内の公園（うるぎ星の森オートキャンプ場、河川公園）に花木やハーブ（ラベンダー）の植栽を行い、美しい景観づくりに取り組む。 ・「うるぎふるさと館」の地域案内の役割を充実させて、おもてなしの質の向上を図る。 ※村の自然や歴史文化、自慢スポットなどの紹介・説明など ・活動は、「(有) ネットワークうるぎ」（I ターン者を含む住民5人が水田を借りて耕作する会社）、が中心となり、事業推進メンバーと協働して取り組む。 活動③：“峠に囲まれたうるぎ村”の魅力を発信して来訪を促すとともに、村の楽しみ方（田舎遊び）を紹介する。

	売木村の四季の変化の美しさを伝える写真の活用と、活動①、活動②の内容や地域資源情報をまとめた冊子づくり ・「売木村写真倶楽部」の写真を使って『うるぎ村ふる里カレンダー2010』を製作。 ・地域情報を伝える「売木村田舎遊びパスポート（仮称）」の製作 ※「村の伝えたい・守りたい世間遺産」を住民から募集。 ※パスポート活用策として、田舎遊び達人制度・クラス別の認定や表彰などの工夫を考え、リピーター型の交流人口拡大につなげる。 ・活動は、「売木村写真倶楽部」とアミが中心となり、事業推進メンバーと協働して取り組む。
応募団体名	特定非営利活動法人三遠南信アミ
リンク	http://www.rue-ami.com/
部局／担当者名	理事 三宅 淳子
連絡先	053-462-5273 / wellplan@uv.tnc.ne.jp
推薦市町村名	売木村